

京丹後市都市拠点構想及び京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画 改定案（概要）

1 京丹後市都市拠点構想の改定案（概要）

（1）都市拠点における公共施設のゾーニングの変更（P.6）

「公共施設ゾーン」の位置を「主に賑わいゾーン」の中に移動

（2）公共施設ゾーンの整備構想の変更（P.20）

ア 整備場所に係る説明内容の変更

- ・ しんざん小学校隣接地に整備する趣旨の説明から、商業機能が集積する区域に整備する趣旨の説明に変更

イ 公共施設ゾーン検討エリアの図示

- ・ 公共施設ゾーンの図示から、公共施設ゾーン検討エリア※¹の図示に変更

※¹公共施設ゾーン検討エリア：第1回都市拠点公共施設整備基本計画等検討会議で整備候補地の検討エリアとして示した、国道312号と482号の交差点付近の商業機能が集積するエリア

2 京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画の改定案（概要）

（1）これまでの経過の変更（P.1）

公共施設ゾーンの図示から、公共施設ゾーン検討エリアの図示に変更

（2）本計画の位置づけの変更（P.1）

都市拠点公共施設について、検討会議における議論を踏まえ再選定した整備場所のなかで整備する旨に修正

（3）公共施設ゾーンの検討の変更（P.18～19）

ア 候補地の評価に係る項目を新規追加

- ・ 整備候補地の絞り込み・評価の要件及び候補地の評価結果（候補地⑤の評価が最も高い）について記述

イ 整備場所の再選定に係る項目を新規追加

- ・ 候補地の評価結果に基づき再選定した整備場所を図示

（4）導入機能の変更（P.20～25）

ア 施設規模・諸室の見直しに伴う導入機能イメージの修正

イ 図書館機能に係る目指す方向性・ビジョンの追記

- 行きたい・そこに居たいと思える空間、本を媒介とした人とのつながりづくりといった役割を果たす施設を目指す。

ウ 子育て支援機能に係る目指す方向性・ビジョンの追記

- 「京丹後の子どもの未来のために、“認める・受け入れる・応援する」というビジョンに基づき、視点を変えてできることを伸ばす、「プラス視点」の子育て支援を行い、子育てが楽しくなる環境づくりを目指す。
- 子ども・妊産婦・子育て世帯への切れ目のない包括的支援を行う。
- 機能の充実を図るとともに、ICT 等も効果的に活用しながら、図書、学び、文化・芸術といった様々な要素との相乗効果により独自のサービス・体験を提供し、市内外の多くの方に繰り返し利用いただける施設を目指す。
- 【ア 遊びの場】遊びを通じた学びの場として、地域の文化や自然などの地域資源を活かした学びと I C T等を活用した先進的な学びが提供できる環境づくりを目指します。

エ 文化・芸術活動支援機能と市民活動支援・交流機能の統合、諸室の見直し及び目指す方向性・ビジョンの追記

- 市民ホール、創作室・音楽室等、多目的室を統合。一定のホール機能（舞台、証明、音響等）や移動観覧席を有する施設から、防音機能や可動間仕切りなどにより一定の文化・芸術活動が可能な諸室とする形に変更

（５）規模の変更（P.26）

内容	想定面積	備考
延床面積	約 7,000 m ² →約 6,000 m ²	3 階建て想定
広場	約 3,000 m ² →約 300 m ²	
駐車場	約 7,500 m ² →約 1,700 m ²	想定駐車台数（通常利用）：約 65 台 ※職員用駐車場等は別途検討

市民ホール、創作室・音楽室等、多目的室を統合し、想定面積を 980 m²から 400 m²に変更

（６）ゾーニングのイメージ図の削除（P.26）

当初の計画では公共施設ゾーンのなかで建物・広場ゾーンと駐車場ゾーンを分けていたが、再選定した整備場所においてはゾーン分けがないため削除

(7) 複合施設内の各機能の配置と動線 (P.27～28)

平屋案、2 階建て案、3 階建て（1 階駐車場）案の削除 ※3 階建てに確定したわけではなく、今後設計等を行うなかで具体化を図る前提として、敷地規模を勘案しながら参考イメージを示すもの。

3 階建て案の機能配置イメージの変更

(8) 整備イメージのうち外観イメージの削除 (P.30)

(9) 概算事業費の変更 (P.35)

項目	変更前	変更後
土地造成費	約 5.5 億円	約 1.4 億円
調査・設計費（地質・設計）	約 3.8 億円	約 4.5 億円
建設工事費（建築本体、設備、什器備品等）	約 48.0 億円	約 44.7 億円
その他工事費（外構、駐車場等）	約 3.6 億円	約 0.9 億円
合計	約 60.9 億円	約 51.5 億円

(10) 事業スケジュール案の変更 (P.35)

全体的に 1 年間後ろ倒し